

表 上海市カーボンピークアウトに向けた実施方案、重点任務の主な内容

|    | 重点任務項目               | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | エネルギーグリーン低炭素転換行動     | 2025年までに社会用电量に占める再生可能エネルギーの割合を36%、太陽光発電の設備容量を400万キロワット、風力発電の設備容量を260万キロワット、天然ガスの年間供給量を137億立方メートル前後、天然ガスの備蓄能力が20日分に達することを目指す。2030年までに太陽光発電の設備容量を700万キロワット、風力発電の設備容量を500万キロワット、天然ガスの年間供給量を165億立方メートル前後に達することを目指す。天然ガスの備蓄能力は少なくとも20日とする。                                                                         |
| 2  | 省エネルギー、炭素削減、効率化行動    | 省エネの精密化管理を推進、省エネ炭素削減の重点プロジェクトを実施、重点エネルギー使用設備の省エネ・効率化の推進、新型インフラ設備の省エネ炭素削減の強化。                                                                                                                                                                                                                                  |
| 3  | 工業分野のカーボンピークアウト行動    | 産業のグリーン低炭素転換を推進、鉄鋼産業のカーボンピークアウトを推進、石油化学産業のカーボンピークアウト行動を推進、両高一低（エネルギー消費量と汚染が多く、レベルの低い）プロジェクトの盲目的な発展を断固として抑制。                                                                                                                                                                                                   |
| 4  | 都市建設分野のカーボンピークアウト行動  | 第14次5カ年計画期間中に超低エネルギー消費建築モデル事業を累計800万平方メートル以上実施。2025年までに重点区域において超低エネルギー建築モデルを一定規模展開した上で、超低エネルギー建築基準を全面的に施行する。第15次5カ年計画の期間中、全市の新築の居住用建築における超低エネルギー建築基準の執行割合を50%に、2030年までには全面的なものにする。2025年までに、都市建築の再生可能エネルギー代替率を10%、2030年までに15%に引き上げる。2025年までに、公共機関、工場の屋根の太陽光発電カバー率を50%以上にする。2030年までに、すべての公共機関、工場の屋根に太陽光発電を設置する。 |
| 5  | 交通分野のグリーン低炭素行動       | 2025年までに燃料電池自動車の総量が1万台を突破し、個人の新車購入における電気自動車の占める割合を50%超にする。2030年までに主力輸送船の新造船のエネルギー効率レベルを2020年比20%向上させるよう設計する。液化天然ガスなどのグリーンエネルギー動力船舶の割合は5%以上を目指す。第14次5カ年計画期間中に各種種類の充電ポストを20万カ所建設する。2030年までに民用運輸空港内の車両設備などの全面電動化を実現する。                                                                                           |
| 6  | 循環経済サポート、炭素削減行動      | 2025年までに主な廃棄物のリサイクル利用率を92%前後にすることを目指す。全市での医療廃棄物の処理能力を日量392トンにする。一般工業固体廃棄物の総合利用率を95%以上、主な工業固体廃棄物の総合利用率を98%以上にするを目指す。生活ごみの焼却能力を日量2万9,000トンにする。全市の生活ごみの回収利用率を45%、資源化利用率を85%以上とすることを目指し、全面的な生活ごみの埋め立てゼロを実現する。                                                                                                     |
| 7  | グリーン低炭素科学技術イノベーション行動 | 低コストな再生可能エネルギーによる水素製造、二酸化炭素の回収・利用など、先進技術の研究開発と普及・応用を加速させる。2025年までにカーボンニュートラル関連の重点実験室を10カ所、グリーン技術イノベーションセンターを5カ所建設する。                                                                                                                                                                                          |
| 8  | 炭素吸収能力の強化、向上行動       | 2025年までに公園を新たに600カ所程度増設し、公園総数を1,000以上にする。公園緑地面積は2,500万平方メートル増加し、公園緑地の半径500メートル以内が緑地でカバーされる状態を実現。森林面積を24万ムー（1ムーは約667平方メートル）増加させ、森林被覆率を19.5%以上とし、森林蓄積量が900万立方メートル前後に達するようにする。2030年までに森林被覆率21%を目指し、森林蓄積量が1,100万立方メートル前後に達するようにする。海洋や湿地の炭素吸収能力の強化を図る。                                                             |
| 9  | グリーン低炭素全市民行動         | 中古取引市場の発展を奨励し、電子製品、家電、書籍などの再利用を推進する。グリーン低炭素製品を普及させる。条件付きでデパート、スーパー、観光商品専門店がグリーン製品販売専門エリアを開設することを支持し、再生製品と材料の認証を推進、普及・使用制度の確立、健全化、政府調達におけるグリーン製品の割合を高める。                                                                                                                                                       |
| 10 | グリーン低炭素地域行動          | 各区がエネルギーや産業の特徴を結び付け、実施可能なカーボンピークアウトのスケジュール、ロードマップなどを作成する。上海市のカーボンピークアウト、カーボンニュートラル作業ワーキンググループの審査を経たのち、各区が発表、実施する。崇明島の世界レベルのカーボンピークアウト、カーボンニュートラルモデル区建設を推進する。宝武集団のカーボンピークアウト、カーボンニュートラルに向けた行動を奨励する。                                                                                                            |

（出所）上海市の発表を基にジェトロ作成